

## 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内  
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354  
 西日本支部：〒663-8133 兵庫県西宮市上田東町 4-97 甲南電機 (株) 本社内  
 TEL. 0798-40-6600 FAX. 0798-40-6645

### 平成 28 年度 (第 9 回) 西日本支部総会開催

平成 28 年度 (第 9 回) 西日本支部総会が、10 月 27 日 (木) 15:55~16:30 までの間、兵庫県宝塚市の「宝塚ホテル」6 階の「宝寿の間」で開催されました。当日は、下尾前支部長、宮内副会長兼新支部長及び支部会員の皆様方や本部から田中会長・北畠副会長・松井監事のほか理事の皆様方に加え近畿経済産業局坂本和英製造産業課長殿をはじめとする来賓関係者の陪席を得て総勢 60 名余の方が出席されました。総会には以下の議事次第により、議事が進行し 16:30 に無事終了しました。



挨拶をする下尾前西日本支部長

#### 第 9 回西日本支部総会議事次第

#### 1. 開 会

### 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 9 回西日本支部総会開催・・・・・・・・・・	1	技術調査事業・・・・・・・・・・	6
委員会開催・活動状況		広報・PR 事業・・・・・・・・・・	8
需要対策事業・・・・・・・・・・	5	中小企業関連事業・・・・・・・・・・	8
標準化事業／ISO 対策事業・・・・・・・・	5	PL 対策事業・・・・・・・・・・	9
標準化事業／規格事業・・・・・・・・	6	今後の主要行事予定・・・・・・・・	9
		統計資料・・・・・・・・・・	13

(一社) 日本フルードパワー工業会  
 URL : <http://www.japan-fluid-power.or.jp/>

2. 前支部長挨拶 下尾前西日本支部長
3. 会長挨拶 田中会長
4. 来賓祝辞 近畿経済産業局  
坂本和英製造産業課長
5. 本部報告 藤原専務理事
6. 支部報告 大谷前事務長
7. 新支部長挨拶 宮内西日本支部長兼副会長
8. 閉 会

定刻より 25 分程遅れて支部事務局より支部総会の開催挨拶があり、下尾前支部長委より以下の挨拶がありました。

「本日はお忙しい中、西日本支部総会にご出席賜りましてありがとうございます。私は2年間西日本支部長かつダイキン工業(株)の西日本支部事務局を務めさせていただきました。本日をもちまして甲南電機(株)さんに引き継ぎさせていただきます。本会議の各位、皆様方のご協力に改めまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

昨年11月にダイキン工業の淀川製作所に研究センターとしてテクノロジー・インキュベーションセンターを作りまして、国際会議や懇親会ができるような設備ができました。今年、工業会の中小企業委員会にはお越しいただいたのですが、残念にも昨年の総会に間に合わず滋賀製作所と堺製作所で開催させていただきました。これが私一つ心残りでございます。できましたら新しい研究施設の会場で西日本支部総会が開催できたらなあと思っております。残念でございます。

中国経済が今後どうなるか、イギリスのEU離脱、アメリカの経済がどうなるか、などまだまだ経済環境は不透明ではございますけれど、会議に出席の皆様のご健勝をお祈り申し上げまして支部長として最後のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。」

その後、事務局から来賓の紹介があり、田中会長より以下の挨拶がありました。

「本年5月の総会で新たに会長に選任されました油研工業(株)の田中でございます。支部会員の皆様方には、常日頃から当会の運営に格別のご支援をいただき、また、本日はご多用の中、本支部総会にご参集いただき誠に有難うございます。本支部総会終了後、第78回理事会を開催しますので、併せてご協力の程宜しく申し上げます。

また、本日の西日本支部総会には、ご多忙の中にも拘りませず、近畿経済産業局の坂本和英製造産業課長を始めとする関係機関の皆様方にもご臨席賜り

厚く御礼申し上げます。

さて、本年の経済環境を顧みますと、年明け後の株価の激しい乱高下や為替の円高基調等から日本銀行はわが国として初めての「マイナス金利政策」を導入するなどの一段の環境整備に努めました。こうした中で、5月に8年振りにわが国主催するG7国際伊勢志摩サミットで国際経済環境について議論が行われました。これを受け政府は、「世界経済は想像を超えるスピードで変化し、不透明感を増している」との理由で、消費税引き上げ時期を2年半延長するとともに、第二次補正予算を編成いたしました。このような状況の中で、9月に発表された政府の月例経済報告では、「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。また、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」とあります。私どもも経済環境の推移を慎重に見守り、対応することが望まれます。こうした中で当会は今回、4月に発表した需要予測の見直しに着手し、過日需要委員会を開催し議論を行いました。主な論点は、消費税引き上げ延期の影響、アベノミクスが牽引する国内景気、そして、リスク要因としての国際経済とりわけ中国経済の見通しでありました。その結果、今日発表させていただきますように、油圧機器では中国の建設機械需要が底を打ち、受注活動に明るさが見えるのととの声もあり、全体の約2割を占める輸出が予測値よりも約2割増が期待でき、油圧機器全体では前年度比2%増に修正させていただきました。また、空気圧機器も輸出が伸びることで同じく前年度比2%増が期待できいずれも上方に修正しました。ひとまず、ほっとしているところでありますが、この上昇の流れをきちんと握って離さないような経営をすることが肝要であると思っております。

国内では、これから4年後の東京オリンピック、パラリンピックに向けた各種の事業そして2027年、これも10年後ですからあつという間だと思いますが、東京名古屋を結ぶリニア新幹線の開業など、大きなプロジェクトがいよいよ走り始めます。我々フルードパワー業界もしっかりとこれを下支えしていきたいと思っております。

最後になりましたが、本日の支部総会で、下尾支部長から新しく宮内支部長に変わられました。宮内新支部長様は、工業会会長も歴任されており、その

豊富な御経験、ご知見を活かして、西日本支部をよりよい方向に牽引していただけるものと確信しております。ここにおられる皆様方も、是非新支部長のもとで結束し、ご活躍いただき、西日本支部のさらなる発展、そして本日ご参集の皆様方のご健康並びに会員各社のさらなるご発展を祈念して、私のご挨拶とさせていただきます。」



挨拶をする田中会長

次に来賓を代表して近畿経済産業局坂本和英製造産業課長よりご挨拶をいただきました。

つづいて、本部報告・支部報告を行った後に支部会計報告及び決算報告（案）について審議を求め了承され、新事務長紹介に続き、宮内新西支部長兼副会長より以下の挨拶がありました。

「先ほどの総会で、下尾前支部長の後任として新しく西日本支部長に就任いたしました甲南電機(株)宮内です。下尾前支部長同様どうぞよろしく願いいたします。

さて、本日は工場見学会で酒造メーカの大関を見学していただきました。工場見学会ということで、西宮と言えば、断トツの生産量を誇り、兵庫県、西宮市、西宮商工会議所等も普及に大変力を入れております酒造メーカがすぐ頭に浮かび、「ワンカップ大関」で有名な、大関様に見学をお願いいたしました。本日の見学会で、最後に酒の試飲会があり生原酒を試飲させていただきました。私も毎年、新酒会で利き酒をします。原酒・吟醸・大吟醸・純米酒がありますが、酒の種類は当たったことがありません。日本酒は昔からおいしかったのですが、私は最近非常に美味しくなったと感じております。是非、今後日本食に合います日本酒を楽しまれる機会を増やしていただきたいと思います。

先ほど田中会長のご挨拶の中で、需要見通しの見

直しの結果、油圧機器、空気圧機器とも上方修正というお話があり、私も少々安堵しているところがあります。会長のお話では外需が予測時に比べ底打ちしたことが大きな要因と思われ、それはそれで大変結構なことでもあります。

しかしながら、国内の状況を見ますと、円高の進行などを背景に、消費や設備投資にも勢いはなく、景気のけん引役が見当たらず、相変わらず厳しい状況にあるといえましょう。特に鉄鋼、造船分野等は非常に厳しく、かなり長いトンネルに入っていると思わざるを得ない状況です。この11日、4兆円を超える第2次補正予算が成立しました。「一億総活躍社会の実現の加速」に向けた保育所や介護施設の従事者の待遇改善、「21世紀型のインフラ整備」としてリニア中央新幹線の整備、熊本地震の復旧復興等、総額約28兆円の経済対策の早急な実施が期待される所です。昨今、アベノミクスの成否を問う声もありますが、やはり産業の成長、日本の活性化のためにはアベノミクス政策を着実に実施し成功させるしかないという意気込みで進めていただきたいと思います。改めて政府にお願いする次第です。

こうした中で西日本支部長をお受けいたしました。西日本支部は正会員25社、賛助会員9社で構成され、特色ある中小企業が数多く参加しておられます。この厳しい経済状況下で実際のところ、支部長としてどのように支部を運営していくべきか悩んでおりますが、支部では従前から実施している技能検定に係る事業をさらに推進するとともに、中小企業委員会等が実施している会議の関西地域開催を一層推進していただきたくお願い申し上げます。こうした活動は、西日本支部としても大歓迎でありまして、是非このような動きを一層進めていただければ、西日本の会員にとって大きな励み、そして工業会全体にとっても良い方向になると思います。私も頑張りますが、田中会長是非よろしく願いいたします。

さて、工業会活動の大きな役割に、私は会員間の懇親もあると思っております。コンプライアンスの遵守は当然であります。その中で、自由闊達な意見交換がなされる場を作ることも大切ではないでしょうか。本日はこの後、懇親会もあります。又明日は、西日本支部ゴルフ懇親会を予定しております。是非多くの会員の方々に情報交換と共に交流を深めていただき、楽しんでいただければと思っております。

最後になりましたが、本日は学会の先生方はじめ、本支部総会にご参集・ご臨席の皆様方の益々ご健勝とご活躍、そして会員各社のご発展をお祈りし簡単

ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。」

これをもって、支部総会は無事終了しました。



挨拶をする宮内西日本支部長兼副会長

#### 第 78 回理事会

支部総会終了後16:35頃から同じ会場で第78回理事会を開催しました。理事会には、西日本支部総会に出席された支部会員の皆様もオブザーバーとして参加されました。初めに事務局から本理事会への理事の出席状況について報告が行われ本理事会が有効に成立している旨説明しました。田中会長の議事進行により審議に入りました。議長は来賓として出席していた経済産業省製造産業局産業機械課の阿部利恵係長に挨拶を要請し、同氏から挨拶を兼ねて「平成28年度の研究開発税制の概要」及び「地球未来投資促進税制」等について説明がありました。次に議長は、議事録署名人として代表理事及び監事1名を指名し、議事次第に基づき議事の審議に入り、提案議案は全て承認されました。

#### 第 1 号議案

平成28年度収支予算見直し(案)の件

「平成28年度エネルギー使用合理化国際標準推進事業・省エネ型水圧システムに関する標準化(通称:ADS国際標準化推進事業)」は3年計画で推進している。本年度は2年目の本年度は事業の拡大に伴い、当初予算より増額した委託契約が結べたため予算の見直しが必要な旨説明した。議長は、本件を議場に諮り、審議の結果異議なく承認されました。

#### 第 2 号議案

平成29年度公益財団法人JKAへの補助金申請の件

平成29年度の規格事業の一部に対する補助金申請を行う必要がある旨説明した。議長は、本件を議場に諮り、審議の結果異議なく承認されました。

#### 第 3 号議案

60周年記念事業報告の件

資料により「創立60周年記念事業」について報告をした。

#### 第 4 号議案

IFPEX2017の開催の件

資料により来年9月に開催するIFPEX2017について報告をした。

#### 第 5 号議案

平成28年度需要見通しの見直しの件

資料により見直し結果について説明した。議場から意見表明があり、事務局は検証する旨回答した。

#### その他議案

資料により今後の予定スケジュール等について説明した。以上で審議を終え17:05に無事終了した。

その後、17:15頃より隣室の「宝寿」に場所を移し、支部会員及び出席理事並びに来賓関係者に加え産学連携事業の一貫としてJFPS学会の真田副会長(横浜国立大学教授)を交えた西日本支部との合同懇親会を開催し、和気あいあいのうちに散会しました。



合同懇親会会場

なお、恒例の西日本支部主催による工場見学及び翌日の懇親会は、支部長会社である甲南電機(株)さんのアレンジで、大関(株)の酒蔵工場見学と「宝塚ゴルフ倶楽部」で「第9回西日本支部懇親ゴルフ会」を開催しました。当日は、途中から雲が広がったもののゴルフ日和となりました。参加者一同日頃の精進の成果を期待しプレーを行いました。不本意な結果の方もおられたようでした。成績は以下の通りです。

優勝 大場 孝一 (油研工業(株) 取締役)  
2 位 竹崎 一生 (アクト電機工業 (株)  
取締役社長)  
3 位 岩上 茂 (イハラサイエンス(株)  
関西営業所長)

委員会開催・活動状況報告  
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
需要対策事業  
~~~~~

#### 総需要部会

日時 10月4日(火) 15:00 ~ 16:00  
場所 機械振興会館 6D-1 会議室  
出席者 中間委員以下 17 名  
事務局 藤原、唯根  
議事

事務局の司会で会議を進行した。部会長が所要のため欠席したので、初めに中間委員から最新の資料をもとにした「改訂平成 28 年度のマクロ予測」の説明を受けた。前回に比べ経済環境は好転しているなかで今後の動向についての解説があり、最近の為替の動向等から厳しさも予想される等詳細な説明を受けた。その後、平成 28 年度の見直し案を作成するため、両分科会に分かれて検討し、原案を作成することとした。なお、見直し案については 10 月の理事会に報告する旨説明した。

#### 総需要部会油圧分科会

日時 10月4日(火) 16:00 ~ 17:00  
場所 機械振興会館 6D-1 会議室  
出席者 佐々木委員以下 11 名  
事務局 藤原、唯根  
議事

平成 28 年・年度の需要動向見直しについて、昨今の業界動向や今後の見通し等を、担当業種ごとに各委員から説明を受けるとともに検討審議し、一部の需要分野で景気動向が上向いている事から大幅な積増しを行い、見直し案を策定した。なお、マクロとの乖離が大きいものについては、中間委員に再調整をお願いした。

#### 空気圧分科会

日時 10月4日(火) 16:00 ~ 16:45  
場所 機械振興会館 6D-1 会議室

出席者 高下主査委員以下 3 名  
事務局 藤原  
議事

平成 28 年・年度の需要動向見直しについて、昨今の業界動向や今後の見通し等を、担当業種ごとに各委員から説明を受けるとともに検討審議し、見直し案を策定した。なお、マクロとの乖離が大きいものについては、中間委員に再調整をお願いした。

~~~~~  
標準化事業/ISO 対策事業  
~~~~~

#### 空気圧調質機器分科会

日時 10月19日(水) 13:30 ~ 16:30  
場所 機械振興会館 6-63 会議室  
出席者 小田主査以下 5 名  
事務局 千葉  
議事

前回議事録確認後、ISO/DIS 5782-1 及 ISO/DIS 6301-1 の投票結果について説明があった。続いて、ISO/TC131/SC5/WG5 におけるサイレンサ ISO 規格のために行っているサイレンサ試験の状況説明及び 11 月のミラノ国際会議における対応を検討した。

最後に JIS B 8372-1 の改正案について継続審議した。

次回開催: 12月7日(水) 機振会館 6-63 会議室

#### \* ISO の動き

##### ISO/TC131 フランクフルト国際会議

10月24日から28日までドイツ・フランクフルトにおいて開催された。

会議は、TC131/SC3, SC3/WG1, SC3/WG2, SC3/WG4, TC131/SC6, SC6/WG1, SC6/WG2, SC6/WG3 の各分科会が開催された。

日本からは、CKD (株) の吉田委員、(株) TAIYO の東川委員、日本ポイール(株)の難波委員の3名が参加した。会議の詳細については、後日、報告書を作成し公表します。

投票に付されている ISO 規格案  
(TC131)

DIS 8573-2 Compressed air -- Contaminant measurement -- Part 2: Oil aerosol content

発行された ISO 規格  
(TC131)

ISO 11171:2016 Hydraulic fluid power - Calibration of automatic particle counters for liquids

~~~~~  
標準化事業／規格事業  
~~~~~

#### 流量測定分科会

日 時 10月7日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 妹尾主査以下 8名

事務局 千葉

#### 議 事

前回議事録確認後、空気圧バルブ分科会から依頼のあったクラッキング圧力の測定方法について各社から意見を聞いた。各社の意見を空気圧バルブ分科会へ主査から連絡をする。

続いて、今年度C区分に登録したISO 6358-2 流量特性試験方法の代替試験方法のJIS原案の継続審議を行った。

次回開催：12月8日(木) 機振会館 6-64 会議室

#### 油空圧シール小委員会

日 時 10月18日(火) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 川口主査以下 11名

事務局 千葉

#### 議 事

ISO 3601-5:2015 のJIS規格化について審議した。材料の特性試験に関する規格のため、各社の材料の専門家も含め、各シールメーカーの保有材料の規格が今回のISO規格とどのように対応しているかの状況の確認を行った。

実情はかなり開きがあることが確認されたので、JIS化することが適切か、JIS化する場合には関連するJIS B 2401-1 とどのように関連付けるかなどについて審議した。

今回の審議結果を基に、シール分科会へ提案することにした。

#### 空気圧バルブ分科会

日 時 10月20日(木) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 夏目主査以下 5名

事務局 千葉

#### 議 事

前回議事録に沿って議事を進行した。

まず、JIS見直し調査の対象となっているJIS B 8375-1, JIS B 8375-2, JIS B 8400-1 について検討し、対応を決めた。

続いて、JIS B 8376 空気圧用速度制御弁の見直し作業に入った。クラッキング圧力の定義と測定方法について各社の実情を調査し、検討した。続いて、耐圧試験、漏れ試験、耐久試験などについて検討した。

次回開催：12月15日(木) 機振会館 6-63 会議室

#### 油圧システム分科会

日 時 10月21日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 渋谷主査以下 4名

事務局 千葉

#### 議 事

まず、JIS見直し調査の対象となっているJIS B 0125-1 について検討し、対応を決めた。

続いて、平成28年度B区分に登録したJIS B 0125-2”油圧・空気圧システム及び機器一図記号及び回路図一第2部：回路図”の改正原案について検討審議した。

次回開催：12月12日(月) 機振会館 6-63 会議室

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

#### 技術委員会油圧部会若手技術者懇談会

日 時 10月5日(水) 13:30 ~ 19:00

場 所 機械振興会館 B3-3 会議室

出席者 伊藤和巳部会長以下 16名

事務局 千葉、大橋

#### 議 事

伊藤部会長の開会挨拶の後、直ちに第1部の講演に入った。斉藤賢治氏による講演は、下図に示す通りであり、油圧技術・制御技術に関する豊富な業務体験の中から、特に若手技術者に伝承しておきたいとする経験の一端が紹介された。



### 講演演題と講師略歴、講演する斉藤講師

中でもボーイング社での“767”の開発参加や国内団体への出向による多関節マニピュレータの開発などの話題は、若手の皆さんも熱心に聴講していた。パワーポイント 60 枚に及ぶ大作の配布資料は本講演に対し特別に作成されたものであり、仕事の取り組み姿勢や「発想と集中力」と題する雑感などは、開発の過程で役に立つ貴重な経験談となっている。最後に、「まだまだ油圧の将来は明るい」とプラス思考の言葉で講演を終えた。

講師の若手に対する教育・指導の熱心さには事務局としても頭の下がる思いであった。



熱心に聴講する若手の皆さん

第2部は、若手から中堅に差し掛かる14名の参加者の自己紹介、会社紹介、業務体験や開発した製品の紹介、さらには油圧技術者としての抱負を披露してもらおう場とした。短い持ち時間の中で、簡潔明瞭なプレゼンが行われ、類似製品を担当する他社からの鋭い質問や、活発な意見交換が行われた。

その延長線上で第3部の懇親会に移り、話し足りなかった業務の内容や日常の話題など、全員が時のたつのも忘れ、それぞれに会話を楽しんでいた。本年度第2回の工場見学会年は年明けに開催予定であり、再会を誓って約2時間の懇親会を終えた。



懇親会を前にして、集合写真

技術委員会空気圧部会第528回特許分科会  
日時 10月14日(金) 13:00～17:00  
場所 京都市勧業館 第1会議室  
出席者 井野幹事以下6名  
事務局 吉田  
議事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。

公報の検討と無効理由調査について2件については引き続きウォッチングしていくこととした。1件については無効資料調査を依頼することとした。1件については新たな証拠資料2点を加え審議した。1件については引き続き調査を継続することとした。

平成28年度9月末現在収支報告書と特許事務所支払明細の報告について承認を得た。

次回開催：11月11日(金) 機振会館6-61 会議室

### 技術委員会 水圧部会 (平28年度第3回)

日時 10月18日(火)～19日(水)

場所 廣瀬バルブ工業(株) 会議室

出席者 宮川部会長以下13名

事務局 大橋

#### 議事

部会に先立ち廣瀬バルブ工業殿小野社長に挨拶をいただき、水圧実験室のある野田山工場、及び本社工場の見学を行った。続いて滋賀県庁琵琶湖環境部環境政策課環境管理係主任技師・重森俊一様による「水質に関連する法・条例の概要」と題する琵琶湖の環境にまつわる滋賀県の対応状況についての講演を行った。

水圧部会では、まずIFPEX2014の水圧コーナーへの出展者の募集と第1回準備委員会を次回水圧部会に行うことを確認し、ブース素案を披露した。その後、ブログ掲載状況と解析結果を紹介し、市場調査報告として、水素ステーションインフラ展の視察結果が報告された。

また、宮川部会長から、シカゴCCEFPにおいて国際標準化推進活動の一環としてADSの紹介を行い、好評を博したとの報告があった。これに関連して、機関誌60周年記念号・水圧編の英訳資料及びIFPEX2014のパンフレット“水が機械を動かす”英語版の2点をH.P.に掲載したことを報告した。

翌19日は参加委員8名による「びわ湖環境ビジネスメッセ」の視察・市場調査を行った。

次回開催：平成28年11月28日、機振会館

### 技術委員会技術講演会

日時 10月31日(月) 15:00～17:00

場所 機械振興会館6D-1, 6D-2 会議室

出席者 44名

事務局 藤原、千葉

#### 議事

第7回技術講演会は、講師に大森機械工業株式会社生産技術本部の今村禎氏、水野孝司氏、戸兵和重氏、飯酒盃真氏の4氏をお招きし、「包装機械と空気

圧機器」というテーマでご講演いただきました。

講演に先立ち、日本包装機械工業会専務理事の金澤信氏から「包装機械産業の概要」の解説があり、日本の包装・荷造機械産業の生産、輸出入の動向や部門別出荷高の動向等について、統計資料を交えた説明があり、講演に移りました。講演の内容は、

1. 挨拶
2. ピロー包装機への使用事例
3. 深絞り包装機への使用事例
4. 箱関係包装機への使用事例

について、動画を交えた説明があり、大変興味深い講演内容でした。また、包装の種類とそれぞれの包装機械のしくみや特徴など包装工程図を用いての説明は大変分かり易いものでした。

課題として挙げられた項目にはフルードパワーの基本的な課題として受け止められました。

講演会終了後、場所を変えての名刺交換会には24名の方が参加し、講師を交えて交流を深め、和気あいあいのうちに散会しました。



講師紹介



講演風景

~~~~~  
広報・PR 関連事業

~~~~~

#### 第91回編集委員会

日時 10月14日(金) 15:00 ~ 17:00

場所 伊豆高原ユートピア 会議室

出席者 齋藤委員長以下10名

事務局 大橋

#### 議事

齋藤委員長挨拶の後、議事に入った。

#### ① VOL. 30, NO. 3~4 (夏~秋号) 報告

事務局から両号の発行数、送付先数を報告した。秋号は、10/17 納品、10/下旬発送予定であり、目次にて記事内容を確認した。

#### ② VOL. 31 年間企画と記事提案状況

2017年の年間企画表にて、IFPEX2017 特集が入るため夏号、秋号の発刊時期を1ヶ月遅らせること、通常記事の充足状況、懸案事項等を報告した。「日本留学者の声」は当面、執筆候補者を調査して蓄積後、掲載することとした。「会員企業の窓」は予定記事が一段落したので、編集委員企業の中から改めて話題を募集することとした。

編集委員からの記事提案は、配布資料の新規分、掲載可能性のある話題、懸案等を報告した。

#### ③ 機関誌のあり方・配布先について

まず、現行記事について、主査と事務局とで作成した記事定義(案)を紹介し、意見交換ののち規定に組み入れ、適宜修正していくこととした。

WG委員に対して行ったアンケート結果の一覧表にて「若い人へのアピール」「仕事の参考・有益情報」「商品関連技術・関連情報」を重視すべきとの集約結果とそれらのキーワードを報告し、今後の検討方針を確認した。また、送付先についても幅広い分野に開示していく観点から見直し中であることを報告した。

同様にIoT関連記事に関し、WG委員に対するアンケート調査結果を報告した。最近の情報紹介、意見交換の後、個別のテーマと執筆者の調査を継続することとした。

#### ④ 次回開催:

・第115回WG 11月24日、機振会館 6-63

~~~~~

#### 中小企業関連事業

~~~~~

#### 第3回中小企業委員会

日時 10月5日(水) 15:00 ~ 17:00



場 所 機械振興会館 5S-1 会議室

出席者 十万委員長以下 15 名

事務局 藤原、堀江、

議 事

① 開会挨拶 十万委員長

② 経産省からの施策近況と業界現況報告

経産省・阿部係長より平成 28 年度補正予算(ものづくり補助金)を含む施策の概要について詳細な説明があった。その後、出席各社からの現況報告が行われた。

③ 会長講和会

恒例の会長講和会を開催し、田中会長より「グローバル化するなかでの海外進出」というテーマで油研工業(株)の 1960 年代から現在まで国際展開とその歴史並びに子会社統治体制、支援策、設立の条件等事業実施内容及びご苦労話し等も含めた内容の濃いお話をいただきました。

次回開催：2月8日(水)

~~~~~

PL 対策事業

~~~~~

PL 対策委員会

PL セミナー・平成 29 年度 PL 保険説明会

日 時 10 月 25 日(火) 15:00~17:00

場 所 機械振興会館 6-67 会議室

出席者 22 名

事務局 藤原、堀江

議 事

はじめに事務局から本日の講師の SOMPO リスクアマネジメント(株) ERM 事業部海外危機管理グループ主任コンサルタント伊橋貴之様の略歴の紹介がありました。当日は、第 1 部が 15:00~16:30 までの間「海外危機管理セミナー ~直面する脅威に備えて~」についてのテーマで、海外で直面しうる危機から身を守るために必要な実践的な安全対策について講演を受けました。第 2 部が 16:40~17:00 までの間「平成 29 年度の PL 団体総合保険制度」についてワールドインシュアランスブローカーズ(株) 営業部の金田弘基氏から説明及びその後の個別相談会の順に開催しました。



海外危機管理セミナー

~~~~~

工業会ニュース

~~~~~

☆平成 29 年度団体総合保険制度への新規加入・継続加入をご案内中

平成 28 年 10 月 25 日(火)に「平成 29 年度団体総合保険制度(国内 CGL・国内 PL・海外 PL)」への新規加入・継続加入のご説明会を開催させていただきました。

当会の PL 団体保険制度は、早くから国際化の進展を睨んで、輸出拡大や海外への事業進出展開を踏まえ、低廉な保険料率で諸々のリスクに対応でき加入者に大きなメリットがある保険制度をめざし運営してきております。

具体的内容につきましては、本保険制度の取扱ブローカーであるワールドインシュアランスブローカーズ(株)の関係者をご訪問し各社のご事情を伺い、お見積等をさせていただきます。11 月 30 日(水)までに所定の様式により申し込みお願い申し上げます

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

☆11 月 17 日(木)~22 日(火) JIMTOF2016

(場 所) 東京ビックサイト

☆12 月 13 日(火) 第 25 回政策委員会

(場 所) JFPA 会議室

\*平成 29 年

☆1 月 12 日(木) 第 79 回理事会

(時 間) 13:30~14:50

(場 所) ザ・プリンス パークタワー  
芝公園 B-2 さざんか

☆1月12日(木) 年始会  
(時 間) 15:00~16:30  
(場 所) ザ・プリンス パークタワー  
芝公園B-2 ボールルーム AB

☆4月21日(金) 第80回理事会及び懇親会  
(時 間) 15:30~16:50  
(場 所) ザ・プリンスさくらタワー  
高輪  
2F「コンファレンスフロア」

☆5月18日(木) 平成29年度(第18回) 定時総  
会及び懇親会  
(時 間) 15:30~16:50  
(場 所) 東京プリンスホテル  
芝公園  
同懇親会  
(時 間) 17:00~18:30  
(場 所) 東京プリンスホテル

☆5月19日(金) 第56回 JFPA 懇親ゴルフ会  
(場 所) 程ヶ谷ゴルフ倶楽部スタート  
OUT 9:30、36、42 3組  
I N 9:30、36、42 3組

☆9月13日(水) ~15日(金) IFPEX2017  
(場 所) 東京ビックサイト

// 林 輝夫 (ナブテスコ)  
// 矢作秀郷 (油研工業)

空気圧分科会  
主 査 高下 修 (SMC)  
委 員 大朝栄一 (甲南電機)  
// 今井智明 (CKD)

(標準化事業/ISO 事業)  
空気圧調質機器分科会  
開催日 10月19日(水)

出席者  
主 査 小田敏裕 (甲南電機)  
委 員 三村 岳 (SMC)  
// 土岐真人 (コガネイ)  
// 國崎雄嗣 (CKD)  
// 高橋隆道 (甲南電機)

10月24日(月) ~10月29日(土)  
ISO/TC131 フランクフルト国際会議

出席者  
委 員 難波竹己 (日本ボール)  
// 吉田泰裕 (CKD)  
// 東川智信 (TAIYO)

(標準化事業/規格事業)  
流量測定分科会

開催日 10月7日(金)  
出席者  
主 査 妹尾 満 (SMC)  
委 員 香川利春 (東京工業大学)  
// 高橋浩爾 (上智大学)  
// 長井敏和 (CKD)  
// 佐々木政彰 (アズビル TACO)  
// 八手又秀浩 (日本ピスコ)  
// 張 護平 (SMC)  
// 若原洋行 (TAIYO)

~~~~~  
10月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(需要対策事業)  
総需要部会  
開催日 10月4日(火)  
出席者  
委 員 中間正道 (中間行政法務事務所)

油圧分科会  
主 査 木元隆之 (KYB)  
委 員 佐々木毅 (イトン)  
// 北村嘉之 (KYB)  
// 水 悟史 (川崎重工業)  
// 山脇研郎 (住友精密工業)  
// 岡本智行 (ダイキン工業)  
// 中川春香 (ダイキン工業)  
// 中島一成 (TAIYO)  
// 後藤一裕 (豊興工業)

油空圧シール小委員会  
開催日 10月18日(火)  
出席者  
主 査 川口 葵 (阪上製作所)  
委 員 南 暢 (日本バルカー工業)  
// 鈴木 憲 (日本バルカー工業)  
// 木挽一彦 (三菱電線工業)  
// 方波見栄次 (荒井製作所)  
// 藤山正道 (荒井製作所)

〃 中尾雅司 (NOK)  
〃 守尾 亮 (NOK)  
〃 太田正貴 (阪上製作所)  
〃 安西祐二 (阪上製作所)  
〃 小畑博美 (JFPA)

空気圧バルブ分科会

開催日 10月20日(木)

出席者

主 査 夏目清辰 (CKD)  
委 員 河野喜之 (甲南電機)  
〃 石毛浩二 (クロダニューマティクス)  
〃 大島雅之 (SMC)  
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

油圧システム分科会

開催日 10月21日(金)

出席者

主 査 渋谷文昭 (東京計器)  
委 員 町田哲治 (東京計器)  
〃 城ヶ崎正生 (豊興工業)  
〃 中川幸隆 (川崎重工業)

(技術調査事業)

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会

開催日 10月5日(水)

出席者

部会長 伊藤和巳 (KYB)  
講 師 斉藤賢治 (元 KYB、元 JFPS 事務局長)  
参加者 阪井祐紀 (KYB)  
〃 佐野悠太 (KYB)  
〃 尾上賢志 (川崎重工業)  
〃 西山 遼 (住友精密工業)  
〃 梶田倫久 (タカコ)  
〃 岸 祐哉 (ダイキン工業)  
〃 伊原知幸 (東京計器)  
〃 豊田拓也 (東京計器)  
〃 下山弘高 (日本アキュムレータ)  
〃 高柳祐介 (日立建機)  
〃 森 政文 (廣瀬バルブ工業)  
〃 濱野貴至 (不二越)  
〃 宮本奈央也 (ボッシュ・レックスロス)  
〃 下川 翼 (油研工業)

技術委員会空気圧部会

第528回特許分科会

開催日 10月14日(金)

出席者

幹 事 井野雅康 (SMC)  
委 員 栗盛宏樹 (アズビル TACO)  
〃 出澤 大 (クロダニューマティクス)  
〃 赤松直人 (甲南電機)  
〃 今野英俊 (コガネイ)  
〃 細田一也 (CKD)

技術委員会水圧部会

開催日 10月18日(火)～19日(水)

出席者

部会長 宮川新平 (KYB)  
委 員 井口 務 (廣瀬バルブ工業)  
〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)  
〃 黒須 寛 (イハラサイエンス)  
〃 鳥居良介 (阪上製作所)  
〃 古本 篤 (三輪精機)  
〃 柿木宗久 (タイヨーインターナショナル)  
〃 石丸典幸 (豊興工業)  
〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)  
〃 細井耕平 (堀内機械)  
〃 高橋永治 (マルヤマエクセル)  
〃 大川宗久 (大電)  
[聴講] 安藤 進 (オリオン機械)

(広報・PR 関連事業)

第91回編集委員会

開催日 10月14日(金)

出席者

委員長 齋藤圭介 (KYB)  
副委員長 水野純一 (CKD)  
WG 主査 宮 能治 (KYB)  
顧 問 北川 能 (元東工大)  
委 員 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)  
〃 神戸孝典 (甲南電機)  
〃 豊田敏久 (川崎重工業)  
〃 永井茂和 (SMC)  
〃 東川智信 (TAIYO)  
〃 諸橋 博 (東京計器)

(中小企業関連事業)

平成28年度第3回中小企業委員会

開催日 10月5日(水)

出席者

委員長 十萬幹雄 (神威産業)  
副委員長 松井源太郎 代理 (マツイ)  
委 員 松田庄三郎 (光陽精機)  
〃 澤田敬之 (タイヨーインターナショナル)

// 向 恭男 (大生工業)  
 // 真嶋利博 (タカコ)  
 // 野村伯英 (南武)  
 // 杉村登夢 (日本アキュムレータ)  
 // 永島実也 (日本オイルポンプ)  
 // 山本将人 (オックスジャッキ)  
 // 赤羽啓一 代理 (アズビル TACO)  
 // 阿部利恵 (経済産業省)  
 アドバイザー 服部嘉博 (経済産業省)

(PL 対策事業)

PL 委員会

平成 28 年度 PL セミナー／

平成 29 年度団体総合保険説明・相談会

開催日 10 月 25 日 (火)

出席者

参加者 北畠多門 (SMC)  
 // 畑 徹 (SMC)  
 // 九 圭一 (SMC)  
 // 山崎真人 (廣瀬バルブ工業)  
 // 府川周平 (廣瀬バルブ工業)  
 // 小野立誠 (マツイ)  
 // 外山亮司 (三輪精機)  
 // 増井丈雄 (日本シリンダ共同事業)  
 // 森田光輝 (南武)  
 // 高橋 聖 (国際興業)  
 // 茂木賢治 (オックスジャッキ)  
 // 乾 純 (ヤマシンフィルタ)  
 // 杉岡俊明 (損害保険ジャパン日本興亜)  
 // 山中尚志 (三井住友海上火災保険)  
 // 清水 隆 (東京海上日動火災)  
 // 富内啓之 (ワールドブローカーズ)  
 // 鍋倉智之 (ワールドブローカーズ)  
 // 高橋和也 (ワールドブローカーズ)  
 // 軽部政彦 (ワールドブローカーズ)  
 // 檜山辰也 (ワールドブローカーズ)  
 // 金田弘基 (ワールドブローカーズ)  
 // 江村幸哉 (ワールドブローカーズ)

5 日 (水)  
 ・中小企業 (委)  
 ・技術 (委) 若手技術者懇談会  
 6 日 (木)  
 ・技術 (委) ADS 国際標準化事業  
 豊橋科学技術大学  
 7 日 (金)  
 ・標準化 (委) 流量測定分科会  
 14 日 (金)  
 ・技術 (委) 空気圧部会第 528 回特許分科会  
 14 日 (金) ~ 15 日 (土)  
 ・編集 (委) 第 91 回委員会  
 18 日 (火)  
 ・ISO (委) シール小委員会  
 18 日 (火) ~ 19 日 (水)  
 ・技術 (委) 水圧部会  
 19 日 (水)  
 ・ISO (委) 調質機器分科会  
 20 日 (木)  
 ・標準化 (委) 空気圧バルブ分科会  
 21 日 (金)  
 ・ISO (委) 油圧システム分科会  
 24 日 (月) ~ 29 日 (土)  
 ・ISO (委) フランクフルト国際会議  
 25 日 (火)  
 ・PL (委) PL セミナー  
 27 日 (木)  
 ・西日本支部主催工場見学会  
 大関 (株) 酒蔵工場  
 ・第 9 回西日本支部総会及び第 79 回理事会  
 ・技術 (委) ADS 国際標準化事業  
 神奈川大学  
 28 日 (金)  
 ・西日本支部主催懇親会  
 31 日 (月)  
 ・技術 (委) 技術講演会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

<10 月>

4 日 (火)

・需要対策 (委) 総需要見直委員会  
 同油圧分科会及び空気圧分科会

~~~~~  
 月間行事概要  
 ~~~~~

